

株主の皆様へ

世界規模で発生した新型コロナウイルス感染拡大に伴い、時代は大きく転換いたしました。私たち個人の日常生活における意識、そして消費スタイルへのニーズも変わり、人々の健康な生活を支える企業として、変革の波を強く感じております。新しい日常のスタンダードが生まれつつある今、生き残るのではなく勝ち残る企業として、お客様・患者様・利用者様の求めている価値に最大限お応えし、地域に暮らす人々がココロもカラダも健康で、楽しく生き活きと過ごすことができる「Well-Being」を支える企業を目指してまいります。

上期においては、一部店舗では営業休止や営業時間の短縮もありましたが、商品の需要急増に伴うお客様対応、供給不足への問い合わせなどに追われながらも、感染リスクを最小限に抑えて店舗の運営を継続し、地域のヘルスケアインフラとしての使命を果たすことができました。この他、インターネットで購入した商品を希望の店舗で受け取れる「店舗受取サービス」を全店舗での対応に拡大、またホームページから各店舗の混雑時間が分かるようにするなど、新しい消費スタイルに応じた取り組みを進めました。

下期からは、マツモトキヨシホールディングス社との経営統合実現に向けて、MD（マーチャндаイジング）の統一を進めております。これに伴って、当社店舗でマツモトキヨシホールディングス社のPB商品の取り扱いをスタートするなど、進捗は当社店舗の売場にてご確認いただけることと存じます。

今後のスケジュールとしましては、2021年2月に経営統合に関する最終契約を締結し、6月には両社定時株主総会にて決議承認、10月から経営統合の効力発生を予定しています。

この経営統合によって、国内で売上高1兆円・3,000店舗の規模を有する社会・生活のインフラ企業となり、ヘルス&ビューティの分野で圧倒的なプレゼンスを獲得し、将来的には「美と健康の分野でアジアNo.1」を目指してまいります。

最後になりましたが、株主の皆様におかれましては、日頃より多大なるご支援・ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。今後とも、一層のご理解・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

2020年12月吉日

代表取締役社長 塚本 厚志



Cocokara Fine REPORT

2020.4.1 ▶ 2020.9.30



証券コード：3098

NEWS 01

マツモトキヨシホールディングスとの 経営統合についての進捗

経営統合のシナジー創出に向けて、品揃え等、MD（マーチャндаイジング）の統一を進めています。これに伴い、当社店舗にて株式会社マツモトキヨシホールディングスのプライベートブランド（PB）商品の取り扱いが始まりました。「matsukiyo」ブランドや高機能化粧品シリーズ「ザ・レチノタイム」など、話題性の高いヒット商品を中心に相互供給を開始しており、共同で新規のPB商品開発に取り組むなど、よりお客様に喜んでいただける魅力ある商品の展開に取り組んでまいります。また、医薬品を含む商品の仕入れを両社で一本化することで、スケールメリットを生かして、収益性の向上を目指してまいります。



NEWS 02

M&Aに関するお知らせ

当社は、地域におけるヘルスケアネットワーク構築の推進に向けて、地域の既存店舗との連携を図りながら、積極的なM&Aによって、ドラッグストア事業と調剤薬局事業、介護事業の拡充を進めています。

今期は、2020年6月に有限会社ユーエス・ケミカルから千葉県調剤薬局1店舗、8月に有限会社クレストファーマシーから東京都調剤薬局1店舗、9月に株式会社ファーマテックから愛知県調剤薬局1店舗、10月に株式会社夢源から埼玉県訪問看護事業をそれぞれ譲り受けました。また、9月に大阪府で調剤薬局1店舗を運営する有限会社寿、11月に兵庫県を中心に関西において70店舗の調剤薬局、ドラッグストア等を運営する株式会社フタツカホールディングスの全株式を取得いたしました。

NEWS 03

「神奈川県たばこ対策協力企業」第1号に認定

当社はたばこ対策に積極的に取り組む企業として、神奈川県が2020年8月から新たにスタートさせた「神奈川県たばこ対策協力企業認定制度」の第1号に認定されました。当社は、受動喫煙対策として全国の事務所・店舗・施設の敷地内全面禁煙を実施し、また地域の健康増進を目指して2012年からたばこの販売を中止しています。神奈川県の卒煙サポートプログラムなども活用し、「将来的に社内喫煙率0%」を目指して、喫煙率の更なる低減に取り組んでまいります。

このような健康経営の取り組みが評価され、当社グループは昨年「健康経営優良法人」に認定されています。



神奈川県の黒岩知事(右)と塚本社長

新しい生活様式と消費スタイルへの対応

当社では、お客様や従業員の健康と安全を最優先に考え、様々な取り組みを行っております。今後求められる新しいニーズを的確に捉え、社会課題解決に向けた取り組みを推進してまいります。

1. お店に行く前に「店内の混雑状況がわかる」

7月よりインターネットサイト「ココカラクラブ」にて、ドラッグストア店舗の店内混雑状況をお客様にお伝えする取り組みを開始しました。サイト内の各店舗のページから、お客様の『ご来店状況の過去平均』と『1時間毎のお客様ご来店状況』、『今後の予測』を確認いただけます。

※調剤店舗、岩崎宏健堂は対応しておりません。



2. ネットで買って店舗で受け取るサービスを、調剤専門店含む1,265店舗に拡大

インターネットサイト「ココカラクラブ」で購入した商品をご希望の当社店舗で受け取ることができる「店舗受取サービス」について、2020年10月1日から、当社調剤専門店でもサービスを開始いたしました。これにより、店舗受取サービス実施店舗数は1,265店舗となります。一部店舗で取り扱いのない第一類医薬品などを含む約2万アイテムからお買い物ができ、店舗の営業時間内であれば、好きなタイミングで受け取ることができます。

当社は人々の健康や便利な生活を支える企業として、新しい日常生活のスタンダードとお客様のニーズに応えるため、今後もデジタルトランスフォーメーションを活用した取り組みを積極的に進めてまいります。



3. 電話やオンラインを利用した遠隔服薬指導の対応

薬剤師による服薬指導は対面で行うことが義務付けられていますが、2020年9月施行の改正薬機法により、医療機関の許可など一定条件を満たした場合、オンライン等を利用した遠隔服薬指導が可能となりました。現在は新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた厚生労働省による特例措置に対応し、当社の調剤店舗全店で電話等を用いた遠隔服薬指導を医療機関と連携して行っておりますが、特例措置に依らないオンライン服薬指導も既に4店舗（2020年9月末時点）で対応しています。

当社は地域の方々の健康増進を支援する「健康サポート薬局」やかかりつけ薬剤師の取り組みを積極的に推進しており、その一環として在宅服薬指導を8割超の調剤取扱店舗で実施しています。今後も遠隔服薬指導や在宅調剤への対応を進め、患者様のより一層の利便性向上を図ってまいります。



ココカラファイン主催、大規模健康イベント「ココロ、カラダ、ゲンキ。フェスタ」

2016年から、関西と関東の2会場にて開催

「ココロ、カラダ、ゲンキ。フェスタ」は、地域の人々の健康増進を目的に、美や健康を保つための商品紹介や情報提供、各種健康チェック等を楽しく体験できる、当社主催の大規模健康イベントです。2016年の初めての開催から年々来場者も増え、2019年には関西と関東の2会場合わせて4万人をお迎えする大人気のイベントに成長いたしました。2016年からの累計来場者数は12万人を突破しております。

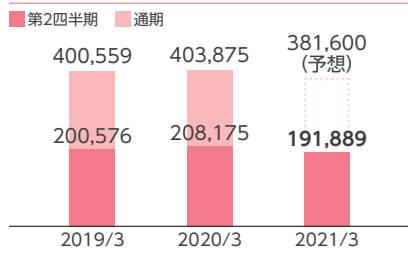
アプリ会員向けオンラインイベントを2021年2月に開催予定

毎年ご来場くださる方も多い当イベントについて、例年いただくご要望「混雑を避けてゆっくり楽しみたい」「開催場所を増やしてほしい」にお応えし、また新しい生活様式に対応して、今年はオンラインイベントを開催いたします。コロナ禍でも安心してイベントを楽しめて、おうち時間の充実のお役に立てるよう、健康・美容を中心とした様々なコンテンツをご用意し、イベントを通じてより広く人々の健康増進に取り組んでまいります。

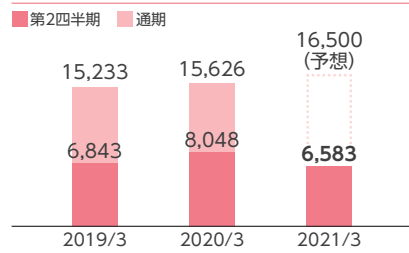


2021年2月開催予定
「ココロ、カラダ、ゲンキ。
フェスタ」で 検索
ココカラクラブのアプリ会員限定特典も！
まだの方は公式アプリを
ダウンロード！

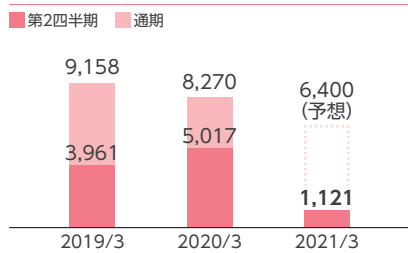
売上高 (単位:百万円)



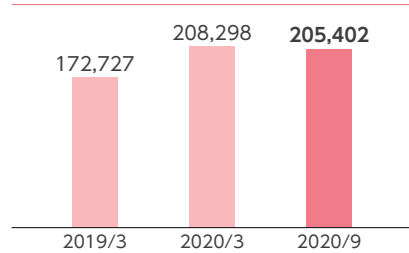
経常利益 (単位:百万円)



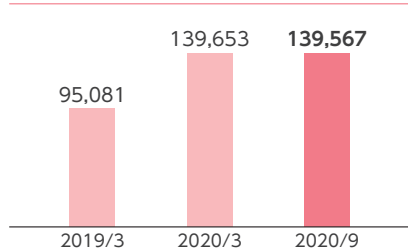
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



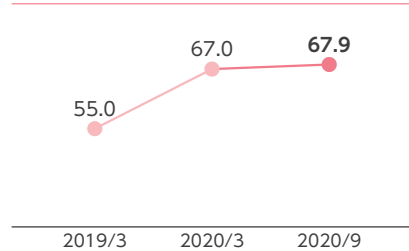
総資産 (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)



自己資本比率 (単位:%)



決算のPOINT

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、マスクや消毒用アルコールなどの関連商品の需要が増加し、また、外出自粛により食品の売上構成比が高い住宅地型や郊外型の店舗においては来店客数等の増加がありました。しかし、都市型店舗でのインバウンド需要や化粧品等の高付加価値商品の落ち込み、調剤事業における処方せん枚数減少、また前年9月に消費増税前特需もあったため、売上高は前年同期比7.8%減となりました。

一方、人件費や広告宣伝費など経費削減の取り組みや改装投資の抑制により、販売費及び一般管理費を圧縮することができ、営業利益、経常利益は期初に発表した予想値を大きく上回ることができました。

また、株式会社マツモトキヨシホールディングスとの資本業務提携に基づくシナジー創出に向けて取り組んでいる商品仕入れの一本化、MDの統一等に伴って生じる棚卸資産廃棄に関する費用のうち、商品評価損約43億円について特別損失として計上いたしました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比78%減となりました。

その他主要な財務データ

(単位:百万円)	当第2四半期 (2021年3月期)	前第2四半期 (2020年3月期)	前期末 (2020年3月期)
流動資産	135,360	101,703	140,123
固定資産	70,042	67,912	68,175
流動負債	57,583	62,438	60,459
固定負債	8,252	8,024	8,186

(単位:百万円)	当第2四半期 (2021年3月期)	前第2四半期 (2020年3月期)	前期末 (2020年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	7,176	8,438	12,919
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,230	△5,347	△10,492
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,547	△1,025	36,099
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	56,412	18,496	55,013

スマートフォンアプリのご案内

お得な情報やクーポンなど、様々な機能を搭載した公式アプリと、服薬管理なども搭載した電子お薬手帳。どちらもダウンロード無料で利用できます。

公式アプリ



iPhone®用

Android™用

電子お薬手帳



iPhone®用

Android™用

ホームページのご案内

IRページでは株主・投資家の皆様向けの情報として、決算発表資料などを適時掲載しています。スマートフォンやタブレット端末にも対応していますので、ぜひご覧ください。

コーポレートサイト <https://corp.cocokarafine.co.jp/>

カスタマーサイト <https://www.cocokarafine.co.jp/>



IR情報が満載!

TOPページ(コーポレートサイト)

会社概要

(2020年9月30日現在)

名称	株式会社ココカラファイン
事業内容	ドラッグストア・調剤薬局および介護事業の運営を行うグループ会社の経営計画・管理ならびにそれに付随する業務
本社	〒222-0033
所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目17番6号
設立日	2008年4月1日
資本金	201億84百万円
関係会社	株式会社ココカラファイン ヘルスケア 株式会社岩崎宏健堂 株式会社CFIZ 株式会社小石川薬局 株式会社福永薬局 有限会社薬宝商事 株式会社ファインケア 株式会社愛安住 株式会社ココカラファイン アソシエ 株式会社ココカラファイン ソレイユ 株式会社シーエフエナジー 株式会社ココカラファイン フリュアヴァンス 有限会社松田 有限会社寿
店舗	北海道・東北地区 …… 40店 四国地区 …………… 17店 関東・甲信越地区 … 451店 九州・沖縄地区 …… 99店 東海・北陸地区 …… 208店 合計 …………… 1,354店 関西地区 …………… 413店 ※うちココカラファイン看板店舗 中国地区 …………… 126店 820店

役員

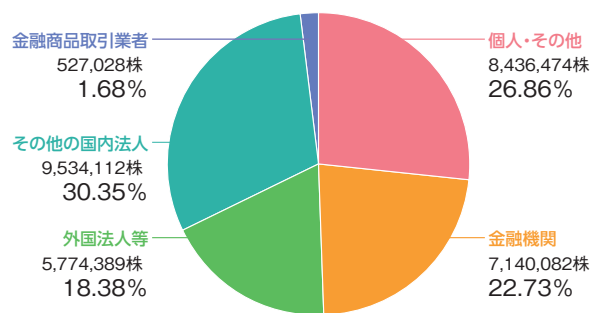
代表取締役社長	塚本 厚志
取締役副社長	山本 剛
取締役	渡辺 玲一
社外取締役	谷間 真
社外取締役	河合 順子
社外取締役(常勤監査等委員)	坂本 朗
社外取締役(監査等委員)	鳥居 明
社外取締役(監査等委員)	橋本 学

株式情報

(2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	31,412,085株
株主数	5,970名

株式分布状況



※「個人・その他」の株式数・持株比率には自己株式(1,368,571株)を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
配当金受領株主確定日	毎年3月31日(期末配当)、毎年9月30日(中間配当)
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 各種お手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話およびインターネットでも承っております。 フリーダイヤル 0120-232-711 平日9:00~17:00 上記時間外につきましては、以下のURLをご覧ください。 <URL> https://www.tr.mufj.jp/daikou/
公告方法	当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。
単元株式数	100株

特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。

株式会社ココカラファイン

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目17番6号 Tel.045-548-5929



環境保全のため、
FSC® 認証紙と
植物油インキを使用して
印刷しています。